

取扱説明書



電気のかぎり

注文コード:52933589

M004-RSL3

このたびは電気のかぎりM004-RSL3をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。ご使用をされる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を充分にご理解をされたうえで、適切な取扱いと保守をして頂きますようお願い申し上げます。



☐ 二重絶縁

身の安全を守るため、使用前に必ず本取扱説明書をよく読み、充分にご理解されたうえで使用してください。今後の参照のため、本取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

お使いになる前に

【安全にお使いいただくために】

- 本取扱説明書を最後までお読みいただき、本製品の性能を充分にご理解してください。また、本取扱説明書の指示に従い適切な取扱いと保守をしていただきますようお願い申し上げます。本取扱説明書に記載する指示に従わない場合、感電・火災または人身事故につながる可能性があります。
取扱いに不慣れな人や、正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
今後の参照のために本取扱説明書を保存してください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険が及ぶ可能性を防止するために、下記のように「警告」に区分しています。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 **警告** この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な障害に結びつく可能性があります。

A. 作業環境

1. 作業場は整理整頓をして、十分な照明を使用してください。散らかった作業台や暗い場所での作業は事故を招きます。
2. 電気のこぎりは爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんなどがある環境では使用しないでください。電気のこぎりは、粉じんまたはヒュームを発火させることがある火花を発生させることがあります。
3. 電気のこぎりの使用中は、子供及び第三者を近づけないでください。
注意が散漫になり、操作に集中できなくなり、操作を誤る原因になります。
その結果、けがをするおそれがあります。

B. 電気に関する安全事項

1. 電気のこぎりのプラグを差し込む前に、電気のこぎりの銘板に印した電圧（AC100V）であるか確かめてください。AC100V 以外の電源で使用しないでください。
どのような形にせよ、プラグは絶対に改造をしないでください。
2. パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされたものに身体を接触させないでください。作業者の身体が接触した場合は、感電の危険が増大します。雨の中や湿気の多い場所では電気のこぎりは使用しないでください。
電気のこぎりを屋外で使用される際には、以下の 3 から 5 に注意してください。
3. 電気のこぎりを雨や湿気にさらさないでください。電気のこぎりに水が入ると感電の危険が増大します。
4. コードを乱暴に扱わないでください。コードを用いて電気のこぎりを運んだり、プラグを抜いたりしないでください。コードは熱、油、角のついたところまたは動くものから離してください。コードが損傷した場合はすぐに使用をやめてください。損傷したコード、絡まったコードの使用は感電の危険が増大します。
5. 電気のこぎりを屋外で使用する場合には、屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
屋外の使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクは低減されます。
6. やむを得ず湿気の多い場所でツールを使用する場合、残留電流装置（RCD）で保護された供給品を使用してください。RCD の使用は感電の危険を減らします。
7. 電源コードは、定期的に点検してください。破損がある場合は使用しないでください。

C. 作業者に関する安全事項

1. 電気のこぎりの使用中は作業に集中し、注意を怠らず、常識に従って行動してください。
疲れている時、アルコールまたは医薬品を飲んでいるときは、電気のこぎりを使用しないでください。
電気のこぎりを使用中の一瞬の不注意は、深刻な人的損害をもたらすことがあります。
2. 安全保護具を必ず使用してください。常に保護めがねを装着してください。適切な状態で防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメット又は耳栓などの安全保護具を使用することで、傷害事故リスクが低減されます。
3. 偶発的な始動を避けてください。プラグに差し込む前に必ずスイッチを「オフ OFF」にしてください。
スイッチに指を掛けて電気のこぎりを運んだり、スイッチが「オン ON」の状態では電気のこぎりのプラグを差し込むと、事故につながるおそれがあります。
4. 電気のこぎりのスイッチを「オン ON」にして電源を入れる前に、工具等を取り外してください。
電気のこぎりの回転部に工具等を付けたままにしておくと、事故を起こすおそれがあります。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。常に適切な足場とバランスを保ってください。適切な足場とバランスを保つことで、予期しない状況でも電気のこぎりをより適切に操作をすることができます。
6. 適切な衣服を着用して作業をしてください。サイズが大きい衣服や装飾品を身に着けないでください。
長髪は束ねてください。髪、衣服、手袋は可動部から離してください。サイズが大きい衣服、装飾品または長髪は、可動部に巻き込まれるおそれがあります。ハンドルはオイルやグリースの付着がなく、乾燥した清潔な状態に保ってください。

D. 電気のこぎりの使用及び手入れ

1. 電気のこぎりを無理に使用しないでください。用途に適した電気のこぎりを使用してください。
用途に適した電気のこぎりは、より適切、かつ、安全な作業ができます。
2. スイッチで始動及び停止操作のできない場合、その電気のこぎりを使用しないでください。
スイッチで制御できない電気のこぎりは危険ですので修理してください。
3. 調整を行う前、先端工具などの付属品を交換する前、電気のこぎりを保管をする前には必ず電源プラグを抜いてください。そうした安全予防対策で、電気のこぎりが偶発的に始動する危険が軽減されます。
4. 使用しない電気のこぎりは子供の手の届かないところに保管してください。
電気のこぎりの説明書に精通していない作業者には電気のこぎりを使用させないでください。
電気のこぎりに不慣れな作業者が扱うと危険です。
5. 電気のこぎりの保守を行ってください。電気のこぎりの動作に影響するおそれがある可動部分の芯ずれまたは締付け状態、部品の破損及びその他の状態を点検してください。
異常がある場合は、使用する前に電気のこぎりの修理を行ってください。電気のこぎりの保守が不十分であることが、多くの事故の原因となっています。
6. 電気のこぎりは丁寧に扱ってください。先端工具等は清潔な状態にしておいてください。先端工具等は適切に交換をしてください。清潔な先端工具等は滑らかに動き、操作が容易です。
7. 改造は誤用に繋がり、危険な状況になることがありますので絶対にしないでください。

E. 整備

部品の破損、および操作に差し障る状態がないかチェックしてください。

損傷がある場合、使用しないでください。多くの事故は整備の不良でおこります。

電気のこぎりの整備は有資格の方のみが行ってください。知識や技術のない方による修理や整備は負傷の危険があります。

電気のこぎりを整備する場合、純正交換部品のみを使用してください。

【本製品を安全にお使いいただくために】

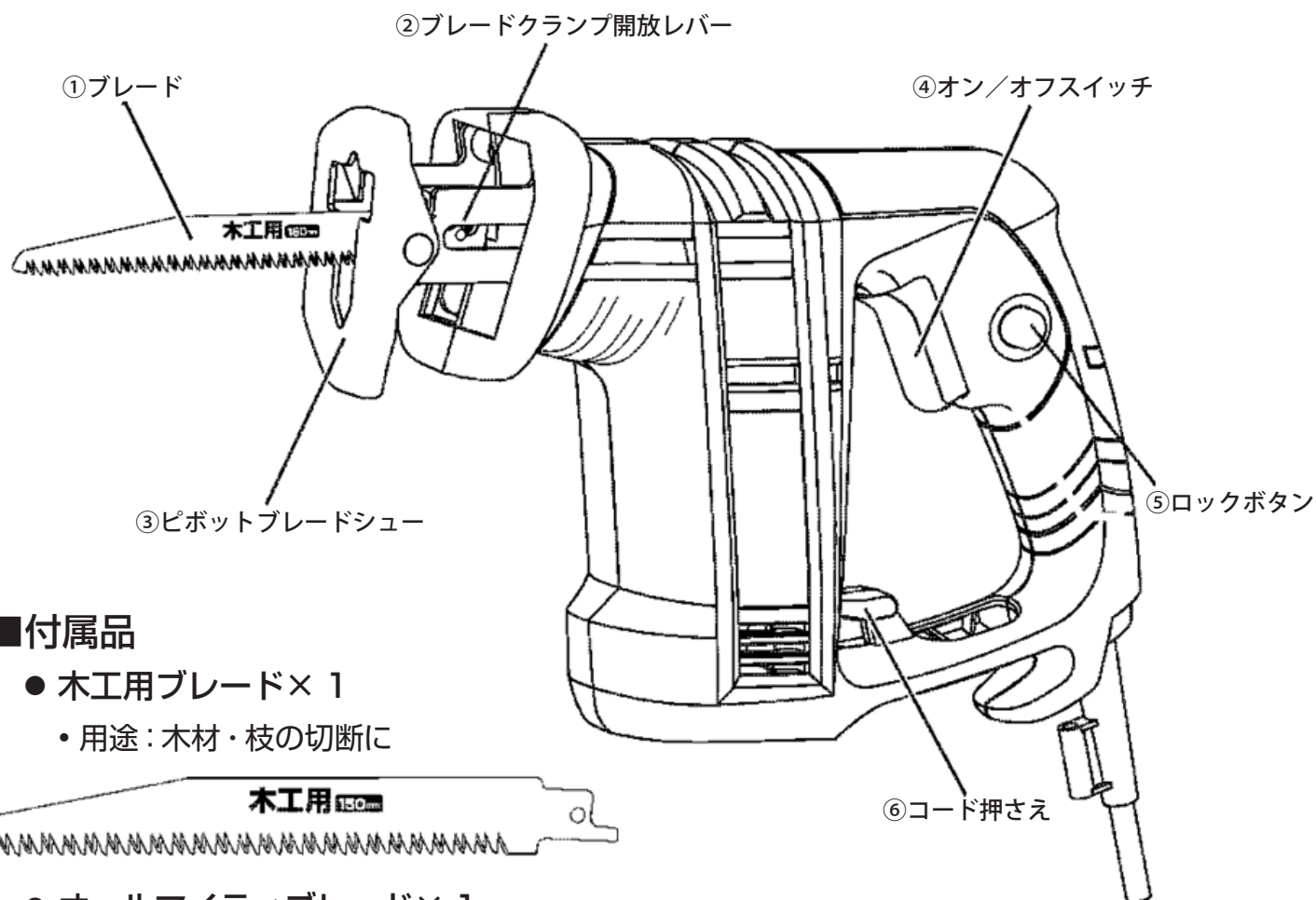
本製品は切断工具です。けがの原因になりますので、これ以外の作業は行わないでください。

本製品をご使用の際には、下記に述べる警告・注意事項もお守りください。

 警告 この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な障害に結びつく可能性があります。
--

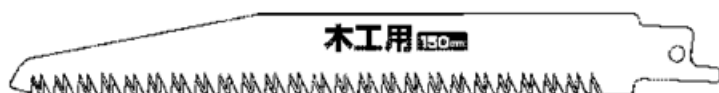
1. 回転部分で電源コードを切断しないように注意してください。誤って切断したり傷をつけた場合は、作業者が感電するおそれがありますので、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
2. 電源コードに回転部分を近づけないでください。可動中に電源コードが引っかかり、怪我をするおそれがあります。
3. 電源コードは回転部分から離してください。手や腕にコードを巻き付けないでください。制御不能になります。コードが手や腕に巻き付いた場合、抜けられずに負傷することがあります。
4. 可燃物の近くで切断作業を行わないでください。
5. スイッチを「オフ OFF」にした後、可動部分が完全に停止してから電気のこぎりを置いてください。可動部分が完全に停止せずに置くと、電気のこぎりが思わぬ動きをして、けがをするおそれがあります。
6. けがのおそれがありますので、作動中の可動部分に手や顔を近づけないでください。
7. 使用中に調子が悪かったり、異音がしたときは、すぐにスイッチを「オフ OFF」にして使用を止めてください。
8. 感電のおそれがありますので、水などをかけて使用しないでください。
9. 電気のこぎりを使用するときは、過剰な力で押し付けたりしないでください。作業対象物が損傷したりモーターが焼けてしまい、けがの原因になります。
10. 電気のこぎりは適切な用途以外で使用しないでください。損傷やけがの原因になります。
11. 先端工具等は確実に取付をしてください。
電気のこぎりから外れてしまうと、けがの原因になります。
12. 高所で作業をされるときは、下に人がいないことを必ず確認してください。電気のこぎりや先端工具等が落下すると事故の原因になります。
13. 調整を行う前、先端工具などの付属品を交換する前、電気のこぎりを保管をする前には必ず電源プラグを抜いてください。そうした安全予防対策で、電気のこぎりが偶発的に始動する危険が軽減されます。
14. ご使用前には必ず電気のこぎり本体、先端工具等に汚れがないかを確認してください。
汚れが付着していると、作業対象物が損傷するおそれがあります。
15. ご使用になられないときは、汚れがつかないように保管をしてください。
16. 雨の中や湿気の多い場所では電気のこぎりは使用しないでください。感電の危険が増大します。
17. 電気のこぎりを使用する前には必ず作業対象物がきれいな状態であること、乾いた状態であることを確認してください。
18. 本製品は長時間使用には向いてません。30分未満での使用をお勧めします。
19. 危険ですので本製品は片手で操作をしないでください。必ず両手でしっかりとハンドルを持って作業をしてください。
20. 使用周囲温度範囲は、5～35℃です。

【構成部品】

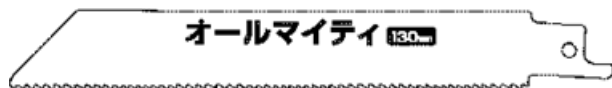


■付属品

- 木工用ブレード× 1
・用途：木材・枝の切断に



- オールマイティブレード× 1
・用途：木材・プラスチック一般金属の切断に



- 鉄工用ブレード× 1
・用途：一般金属の切断に



- ナイフブレード× 1
・用途：カーペット・ダンボール・発砲スチロールの切断に（カーペットは材質により切断できない物もあります。）



- 六角棒レンチ（4mm）× 1
・六角棒レンチホルダーに取付可能



■仕様

- 本体
 - ・電圧：100V、50/60Hz
 - ・電源入力：350W
 - ・無負荷速度：2,200min⁻¹
 - ・ストローク長：18mm
 - ・切断能力：木材 60mm
軟鋼板 6mm
 - ・質量：1.7kg

【操作方法】

■ご使用前に



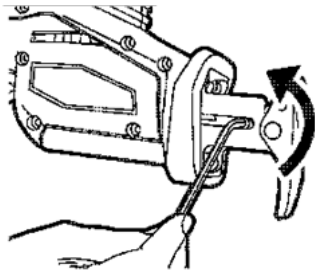
警告

この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は、
死亡や重傷などの重大な障害に結びつく可能性があります。

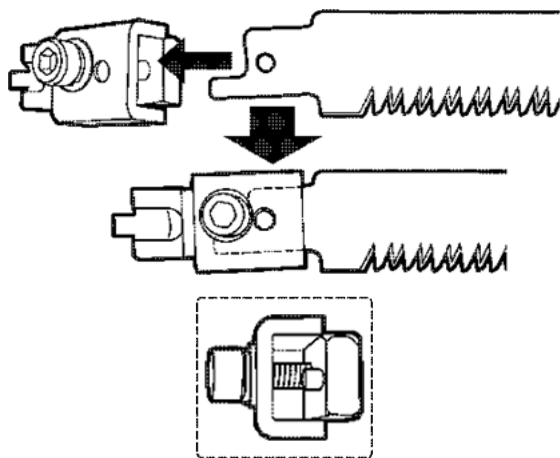
- 電気のこぎりを使用する前には必ず作業対象物がきれいな状態であること、乾いた状態であることを確認してください。
また、雨の中や湿気の多い場所では電気のこぎりは使用しないでください。感電の危険が増大します。
- 付属品の取付、調整または変更をする前に、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
電源コンセントから電源プラグを抜くことは、電気のこぎりが偶発的に始動する危険を減らします。
- 使用前に必ず電源の電圧をチェックして下さい。
必ず本製品に表示されている AC100V で使用してください。
- 必ず付属の部品を使用してください。
- 作業場をきれいに保ってください。材料が混在していたりすると特に危険です。
軽合金の粉じんは燃えたり爆発したりすることがあります。
- アスベストを含有する素材を工作しないでください（アスベストは発がん性物質と考えられています）。
- 鉛を含有する物質や木材の種類、鉱物、金属によっては、有害なものがあります（作業中やそばにいる方がそれらの粉じんに触ったり吸入したりすると、アレルギー症状や呼吸器系疾患を引き起こすことがあります）。
そのため、防じんマスクを着用するとともに、可能な場合は粉じん抽出装置を接続してご使用ください。
- 粉じんの種類によっては、特に木材コンディショニング用の添加物と結合して、発がん性があるものと分類されています（オーク材やブナ材の粉じんなど）。そのため、防じんマスクを着用するとともに、可能な場合は粉じん抽出装置を接続してご使用ください。
- 扱いたい素材についての、粉じんに関する国の規準に従ってください。
- 保護めがねや耳栓などの聴覚保護具を着用してください。
- 加工対象物の下に手を伸ばさないでください（手の近くのブレードが見えなくなります）。
- ブレードに手を近づけないでください。加工対象物の下側を持たないでください。
ブレードに触れてしまうと怪我をする危険があります。
- 電気のこぎりの筐体とブレードクランプの間に手を入れないでください（ブレードクランプで指を挟まれる危険があります）。
- 切断する部分やブレードに手を近づけないでください。もう一方の手で軸筒のグリップを握ってください（両手で電気のこぎりを持った場合は、決してブレードで手を切ることはありません）。
- 切断する対象物を手の中で握ったり、足で挟んだりしないでください（身体の露出やブレードの固着、制御不能のリスクを最小限に抑えるために、対象物を適切な方法で固定することが重要です）。
- 対象物を確実に固定するために、クランプなどの治具を使用してください（対象物を手で握ったり身体で押えたりすると、制御不能になるリスクが高まります）。
- ブレードをこの電気のこぎり本体に取り付けたり、本体から外すときは、保護手袋を着用してください（長時間使用したあとは、のこぎりのブレードが熱くなっている場合があります）。
- 電気のこぎりが隠れた電線や電気のこぎりの電源コードに接触する可能性のある作業を行なうときは、絶縁されたグリップの表面を握ってください（通電している電線にこの電気のこぎりが触れると、この電気のこぎりの露出した金属部分も通電状態になり、作業中にショックを与えます）。
- 壁裏に隠れた配管等を発見するために、適切な検出器を使用するか、建物の管理会社等に相談してください。
電線に接触すると、火災や感電を引き起こす危険が生じます（ガス管を破損させると、爆発を引き起こす危険が生じます。水道管を破損させると、物的損害や感電を引き起こす危険が生じます）。
- 電源コードや延長コードが切れたり破損したり、からまったりした場合は、必ずスイッチをオフにし、電源コードをコンセントから抜いてください（電源コードをコンセントから抜く前に電源コードに触らないでください）。

■ブレードの着脱

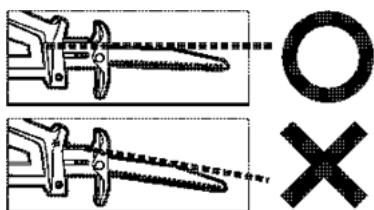
1. レンチを反時計回りに回して、ブレード固定ボルトを緩めます。ただし完全には取り外さないでください。



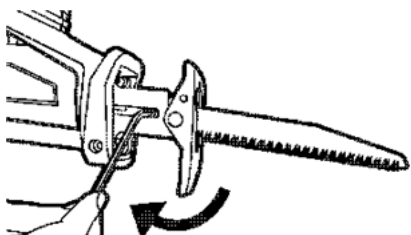
2. ブレードの穴を、チャックの突き出ているシリンダーに合わせ、ブレードを差し込みます。



3. ブレードの縁がこの電動工具本体と平行になるように保持してください。



4. レンチを時計回りに回して、ブレード固定ボルトを締めます。



ブレードがしっかりと固定されていることを確認してください。

ブレードを取り外す場合は、上記の逆の手順で行なってください。

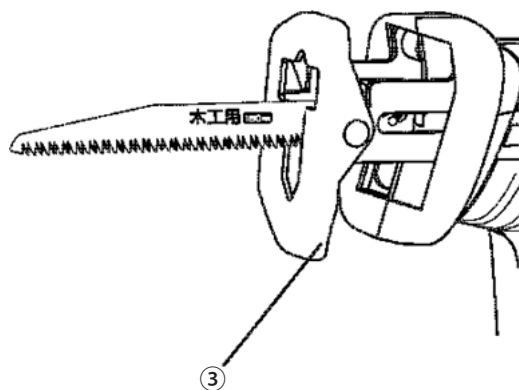
⚠ 警告

ブレードの刃先は非常に鋭利です。上手に切断するためには、加工対象物や切断に適したブレードを使用してください。

床や壁に非常に近い位置での切断も可能です。ブレードのシャンクを、ブレードの刃先を上向きにして（通常とは反対の向き）、ブレードクランプに差し込んでください。このやり方で、加工対象物の表面により近いところでの切断も可能になります。

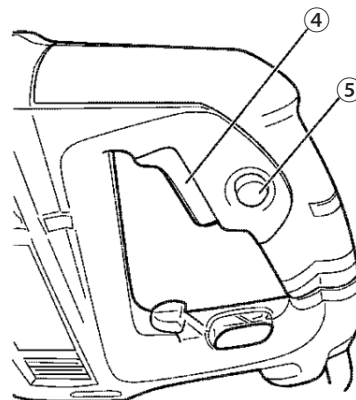
■ピボットブレードシュー

ピボットブレードシュー③は、こののこぎりの振動やブレードの跳ね上がり、ブレードの破損を抑えるために、切削対象物にしっかりと当ててください。



■オン／オフスイッチ

- この電動工具のスイッチをオンにするには、最初にロックボタン⑤を押し、そのあとオン／オフスイッチ④を引っ張ります。
- この電動工具のスイッチをオフにするには、オン／オフスイッチ④を放します。



■操作方法

- 電源プラグを電源に接続します。
- 電源コードが自身の後ろかつ、ブレードから離れたところにあるようにし、また作業中も含めて木の枝などに引っかからないような位置に、確実に配置してください。
- 電気のこぎりのスイッチをオンにします。

注意

電気のこぎりを最大スピードで作動させたあと、ブレードを加工対象物に当ててください。

- 作動させたブレードは常に下方向にして、加工対象物に当ててください。
- 反動や振動を抑えるために、加工対象物をしっかりと工作台に固定してください。

警告

作業中は常に、電気のこぎりをグリップ部分で握ってください。

- 電気のこぎりに過度の負荷を与えないでください。電気のこぎりの性能に応じてご使用ください。
- 通気孔は塞がないでください。

ブレードが、一往復の間常に、加工対象物の幅を超えているような状態を確保してください。

- 切削中に、加工対象物や丸太の切り口の両側が互いに近接しないように、加工対象物や丸太を支えてください。近接すると、ブレードが挟まれて動かさなくなる可能性があります。
- 切削作業前に短い丸太を安全にセットしてください。

張力がかかった状態での木材や枝の切削には、事故の危険性があります。ご注意ください！

■付属品に関する安全上の注意事項

- 切れ味のよくないブレードや破損したブレードは使用しないでください（曲がったブレードは壊れやすく、反動が大きくなります）。

■使用前の安全上の注意事項

- 加工対象物に付いているねじや釘、その他のものによる損傷を避けてください。それら損傷を与えるものは作業前に取り除いてください。
- 切断作業の前に、ブレードクランプがしっかりと締まっていることを確認してください（ブレードクランプが緩んでいると、電気のこぎりやブレードががたついたりして、制御不能になる危険があります）。

■使用中の安全上の注意事項

- 注意散漫にならず、常に作業に集中してください。
- 通気口が破片などでつまっていないように、常に確認してください。
- 万一電氣的、機械的異常が発生した場合は、ただちにスイッチをオフにし、電源プラグを抜いてください。

■使用後の安全上の注意事項

- 電気のこぎりを下に置く前に、モーターが停止し、全ての可動部分が完全に停止したことを確認してください。
- 下記の場合、必ず電源プラグを電源から抜いてください。
 - どのような状況でもこの電気のこぎりを置いておくとき
 - 詰まりものの掃除をする前
 - 電気のこぎりを点検、清掃する前
 - 異物に当ててしまった後
 - どのような状況でも電気のこぎりが異常に振動し出したとき

■保守点検

電気のこぎりとコード、先端工具は常にきれいにしておいてください。

- モーター作動中は、いかなる調整もしないでください。
- ご使用後は、電気のこぎりが最良の状態であることを確認してください。
- 電源コードの交換が必要な場合、危険を防止するため、MonotaRO に連絡をしてください。



注意

清掃の前に、プラグを抜いてください。

■保管

この電動工具は、屋内の乾燥した場所に、鍵を掛けて、子供の手が届かないように保管してください。

これらの指示事項は、いつでも見られる所に保管してください。